



VOL. 33 2014 4月号

住マイル情報宅配便

《理想の家づくりをお客様と共に》

住所 京丹後市峰山町安204-7
株式会社 山寅組
本社 住宅事業部(とらちゃんホーム)
0772-62-0308
担当 葉賀(メタボですが、優しさが取り柄です)
坂井(行動力・若さが自慢そして愛があります。)
久下(行動力……どこへでもすぐに駆けつけます)
石田(営業マンなのに口下手ですが、誠意が一番)
《住宅のことならどんなご相談でも》

家づくりの思い N033

健康住宅への挑戦 高気密住宅が危ない その1



日本は高温多湿という厳しい環境の中で、今日まで長い歴史の中で匠たちにより、最も日本の環境に合う住宅が建てられていました。しかし、冬は非常に寒く現代には不向きな建物になっていましたが、自然と融和した日本式の建物は、シックハウス症候群や化学物質には無縁の建物でした。

日本が高度成長期に入り、建物需要が急務となり、早くて、安くても暖かくて気密性よい建物が、もてはやされてきました。結果、シックハウス症候群などという新しい病気を発生させました。また、パネル住宅は地震に強く在来工法は地震に弱いなどという風潮が流れ、日本古来の手法の住宅は悪者になっていきました。時代と共に、高気密・高断熱の住宅は国の国策となり、現在は省エネも加わり、これではなければ住宅ではないとされています。

ここで少し頭をひやして考えてみましょう

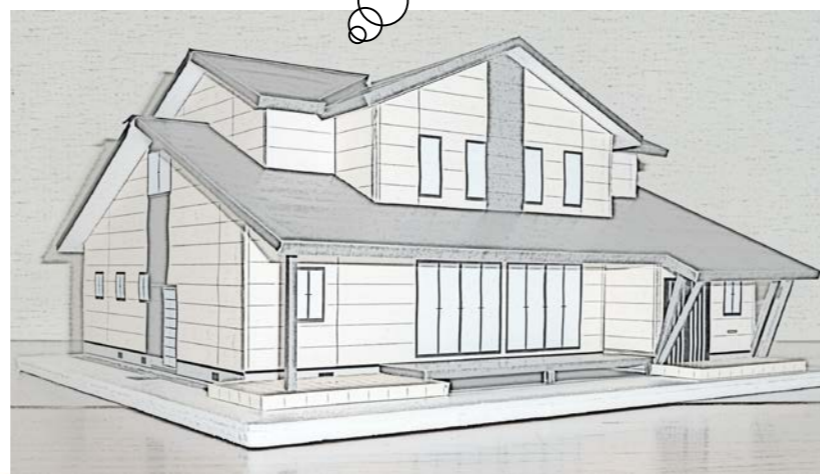
気密にすれば、湿度も化学物質も臭いものは全てこもってしまいます。これでは当然病気になります。結露がひどく、カビ・ダニが発生しホルムアルデヒドによるアトピー頭痛といったシックハウス症候群に侵され住めない家になってしまいます。壁の中は蒸れ・腐れに侵され15年・20年先にはほとんどの場合侵されています。部屋の中は、強制的に換気システムを導入し湿気や化学物質を追いかけてしましますが、暖かい空気も同時に出てしまい省エネにはなりません。強制換気システム・熱交換換気システムなどいろいろと投資する必要がありますが、人間の体で言えば生命維持装置を建物に取付、ひん死の重体です。それでもこの住宅は、治りません。省エネ効果どころか新築時から治療代を払い続け、それでも効果は出ません。年が経つたびに構造体が侵され長くは持ちこたえられません。

正しい家づくりは、機械に頼らずに自然の力を最大限利用す。健康住宅は、少し考えを変えるだけで手に入ります。

峰山町 N邸 もうすぐ着工
こだわりの2世帯住宅です



峰山町 K邸 いよいよ着
工です 内部は吹き抜け
の大空間



峰山町 I邸 もうすぐ完成

